

# **Press Release**

兵 庫 労 働 局 発 表 平成28年8月1日(月) 

 担
 職業安定部職業安定課

 課
 長
 足立
 靖行

 雇用情報官
 鮫島
 成人

当 電 話 078-367-0792

ハローワークのマッチング機能に係る

数値目標及び結果の公表について

兵庫労働局(局長 小 林 健)は、利用者である国民の皆様に対する業務の透明性の向上を図り、ハローワークに対する信頼を向上させる観点から、マッチング機能に係る平成28年度の目標値及び平成27年度の実績を、別紙1「平成28年度全所必須指標及び所重点指標」、別紙2「兵庫労働局ハローワーク別主要指標数値目標及び取組実績」、別紙3兵庫労働局における各所の「ハローワーク就職支援業務報告(平成27年度)」のとおり公表することとしました。平成28年度の目標値達成に向け、一層の業務改善に取り組んで参ります。

#### 別紙の内容等

別紙1「平成28年度全所必須指標及び所重点指標」

業務取扱指標係る平成28年度の目標値になります。

別紙2「兵庫労働局ハローワーク別主要指標数値目標・取組実績」

主要指標である就職件数(常用)、求人充足件数(常用)、雇用保険受給者の早期 再就職件数について、労働局及び県下14のハローワークの平成27年度の目標値 並びに実績値、また平成28年度の目標値を一覧にしたものとなります。

別紙3兵庫労働局における所別「ハローワーク就職支援業務報告(平成27年度)」

各ハローワークの所長が業務運営の総括を行い、今後の取組等についてコメント したものです。また、各業務指標に対する目標達成率等実績を踏まえた、厚生労働 省の総合評価を記載しております。

#### 平成28年度全所必須指標及び所重点指標(兵庫局)

〇 全所必須指標…都道府県労働局・公共職業安定所ごとに計画を策定し、PDCA サイクルによる管理を行うもの。

#### (1)主要指標

#### • 就職件数(常用)

公共職業安定所の職業紹介により常用就職した件数について、68,784件以上 (73,800件以上)を目指す。

#### 充足件数(常用、受理地ベース)

公共職業安定所の常用求人(受理地ベース)の充足件数について、<u>65,362 件以上</u> (69,700 件以上) を目指す。

#### 雇用保険受給者の早期再就職件数

基本手当の支給残日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職する件数について、20,025件以上(19,890件以上)を目指す。

#### (2)補助指標

#### • 満足度(求人者)

求人者向け調査における満足度について、有効回答数を母数として「満足」又は「まあ満足」のいずれかの回答をした割合について、90%以上(90%以上)を目指す。

## 満足度(求職者)

求職者向け調査における満足度について、有効回答数を母数として「満足」又は「まあ満足」のいずれかの回答をした割合について、90%以上(90%以上)を目指す。

#### • 紹介成功率(常用)

公共職業安定所の紹介件数における常用就職した割合について、<u>17.3%以上</u> (16.3%以上)の割合を目指す。

#### 求人に対する紹介率【新規】

公共職業安定所の有効中の求人件数全体に占める紹介歴のある求人件数の割合について、過去3年度実績の平均値27.3%以上(新規)の割合を目指す。

#### 求職者に対する紹介率【新規】

公共職業安定所の有効求職者全体に占める紹介歴のある求職者の割合について、<u>過去3年度実績の平均値21.2%以上</u>(新規)の割合を目指す。

〇 所重点指標…地域の課題を踏まえ、公共職業安定所が特に重点的に推進し成果を 挙げる必要がある業務に係る指標を選択し、PDCAサイクルによる管理を行うも の。

#### 1 生活保護受給者等の就職件数

生活保護受給者等就労自立促進事業の就職者数について、3,350件以上(2,830件以上)を目指す。

※ 当該目標を選択する安定所は、就職支援ナビゲーター(就労支援分及び一体支援分)の配置の有無に関わらず、就職支援ナビゲーター(就労支援分及び一体支援分)を配置した場合の就職件数以上の目標値とすること。

#### 2 障害者の就職件数

公共職業安定所の職業紹介により障害者が就職した件数について、3,405以上(3,158件以上)を目指す。

#### 3 学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数

学卒ジョブサポーターが支援した者のうち、正社員就職した者について、6,218 件以上 (5,975 件以上) を目指す。

# 4 ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数 公共職業安定所の職業紹介により正社員に結びついたフリーター等の件数について、 16,654件以上(19,818件以上)を目指す。

※ 当該平成28年度目標値に係る実績については、直接雇用(派遣を含まない)、 無期、フルタイムであって呼称が正社員のいずれも満たす条件で就職した件数と する。これに伴い、平成28年度については「正社員に結びついたフリーター等の 件数」としている。

#### 5 公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数

公的職業訓練の修了3か月後における雇用保険適用の就職件数(訓練施設経由の就職又は自己就職を含む)について、3,362件以上(1,476件以上(\*半年分))を目指す。

- ※ 当面の間は、公共職業訓練に関する就職件数に雇用保険適用相当就職を含める。
- ※ 平成28年度においては、件数把握が可能な期間を考慮し、平成27年10月~平成28年9月末訓練修了コースまでの数値とする。

# 6 マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対 <u>象者の就職率</u>

マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率について、88.5%以上(87.3%以上)を目指す。

#### 7 正社員求人数

公共職業安定所で管理する正社員である求人の数について、141,481 件以上(143,516件以上)を目指す。

#### 8 正社員就職件数

公共職業安定所で管理する特定の正社員就職の数について、35,779件以上(37,864件以上)を目指す。

### 9 介護・看護・保育分野の就職件数

介護・看護・保育分野への職種に就職した件数について、<u>9,000 件以上</u>(10,600 件以上)を目指す。

#### 10 建設分野の就職件数

建設分野への職種に就職した件数について、1,971件以上(2,570件以上)を目指す。

#### 11 生涯現役支援窓口での 65 歳以上の就職率【新規】

生涯現役支援窓口での 65 歳以上の就職率について、34.0%以上(新規)を目指す。

\* ( ) 書きは27年度目標値等

# 平成27年度 兵庫労働局 ハローワーク別 主要指標 取組実績 及び 平成28年度 兵庫労働局 ハローワーク別 主要指標 数値目標

		就職件数	Ţ		充足件数	Į.		保険受給 月再就職(	
	27年度 目標値	27年度 実績値	28年度 目標値	27年度 目標値	27年度 実績値	28年度 目標値	27年度 目標値	27年度 実績値	28年度 目標値
局計	73,800	67,045	68,784	69,700	63,404	65,362	19,890	21,245	20,025
神戸	11,229	10,084	10,519	13,275	11,934	12,190	3,369	3,931	3,666
灘	7,410	6,208	6,281	6,630	6,013	6,314	1,477	1,498	1,440
尼崎	5,613	4,699	4,933	6,096	5,060	5,134	1,900	1,815	1,700
西宮	6,448	5,292	5,462	5,417	4,799	5,012	2,575	2,606	2,413
姫路	8,752	8,101	8,317	10,188	9,328	9,688	2,140	2,165	2,076
加古川	5,840	5,251	5,440	4,719	4,229	4,387	1,476	1,511	1,484
伊丹	4,330	3,949	4,155	3,000	2,800	2,909	1,335	1,836	1,724
明石	5,065	4,848	4,873	3,794	3,581	3,831	1,512	1,632	1,539
豊岡	3,783	3,784	3,723	3,610	3,559	3,579	775	858	795
西脇	3,086	3,047	3,140	3,142	2,886	3,013	796	712	700
洲本	1,823	1,691	1,712	1,736	1,625	1,631	457	438	386
柏原	2,269	1,965	1,936	2,062	1,890	1,930	490	479	447
西神	3,163	3,107	3,186	2,506	2,280	2,338	734	784	753
龍野	4,989	5,019	5,107	3,525	3,420	3,406	854	965	902

# ハローワーク神戸 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

#### (1) 特に重点的に取り組んだ事項

当所では、雇用保険受給者を早期に再就職へ結びつけることを最重要と考え、担当者制・予約制による職業相談や早期に再就職した場合に支給される再就職手当の周知などの取組を重点的に行いました。就職に結びつける件数を年度当初に数値目標として設定し、担当する職員全員が積極的に取り組んだことにより、目標を達成しました。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

公的職業訓練については、前年度は所内に複数の取扱い窓口があり、利用者がとまどうなどのケースが散見されましたが、同窓口を1か所に 集約することにより、職業訓練希望者にとって利用する窓口がわかりやすくなったとともに、業務の効率化を図ることができて相談待ち時間を 短縮することができました。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

正社員就職を希望する求職者が多い中、正社員求人の積極的な確保に努めるとともに、確保した正社員求人について所内における小規模就職面接会の開催、担当者制による個別相談での情報提供・紹介、ダイレクトメール等による求職者への情報提供などに取り組み、一定の成果を上げてきました。今後さらに、これまでの取組を充実させ、ニーズに応じた求職者サービスを推進していきます。

#### (4) その他業務運営についての分析等

生活保護受給者等の就職支援については、神戸市と一体的に行う事業として当所管内の神戸市長田区、須磨区、垂水区及び北区の各福祉事務所内に常設相談窓口を設置し、また、同市兵庫区の福祉事務所については定期的に巡回して相談を実施しています。平成27年度においては前年度より利用者数が増加し、就職件数も増加しました。今後も継続して実施することにより、生活保護受給者等の就職に大きな役割を果たすことができると考えています。

# 2 総合評価 (※)

## 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

兵庫県立男女共同参画センター内に兵庫県と一体的に行う事業として「女性就業相談室」を設置し、主に女性やひとり親家庭への就業支援を 実施しています。同室においては、兵庫県と連携して各種セミナー開催、小規模就職面接会開催、個別相談、職業紹介などワンストップで就職 を支援しており、平成25年8月に開設して以来、利用者数、就職者数が増加しています。

今後も継続して支援を実施し、多くの求職者の施設利用に努めるとともに、ひとりでも多く就職に結びつけてまいります。

	就職件数	充足件数	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度(求職者)	紹介成功率	生活保護 受給者等 の就職件 数	障害者の就職件数	学卒ジョブ サポータ 一の支援 による正 社員就職 件数	ハローワーク の職業紹介に より正規雇用 に結びついた フリーター等 の件数	公的職業 訓練の修 了3か月 後の就職 件数	正社員求人数	正社員就職件数	介護・看 護・保育分 野の就職 件数	建設分野 の就職件 数
実績	10,084	11,934	3,931	95.8%	96.2%	15.0%	1,187	602	1,550	2,553	270	27,654	4,764	1,409	280
目標	11,229	13,275	3,369	90.0%	90.0%	13.1%	943	503	1,458	3,202	282	27,778	5,327	1,660	390
目標達成率	90%	90%	117%			115%	126%	120%	106%	80%	96%	100%	89%	85%	72%
(参考)過去3年度平均	11,453	13,775	3,589												

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク灘 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

#### (1) 特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標である就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数を最重要として取組みましたが、目標達成率が各84%、91%、101%となり、雇用保険受給者の早期再就職件数のみの達成となりました。特に早朝の就職のニーズが高い求職者等に対する重点的な職業紹介や、担当者制の実施等について取組みに不十分な部分があったため、平成28年度においては、担当者制の強化・拡充(平成27年度の2倍の人数を担当者制の対象とするとともに、支援内容やその顛末についての情報を集約し、就職に結びついていないケースについては職業相談部門の責任者が助言・指導を実施)や雇用保険受給者に対する積極的な取組みにより目標達成に向けて取組むこととしています。所重点指標・項目については、神戸市との協定に基づく、生活保護受給者等の就職件数の目標達成が重要と認識し、東灘区福祉事務所内の「ワークサポートひがしなだ」においては、保護課(神戸市)との連携した就労支援のため、経験豊かなナビゲーターの配置やハローワーク本所からの職員の派遣等に取組みました。その結果、就職実績は、300件の目標に対して、364件と大幅に目標を上回ったため、平成28年度において中央区、灘区で順次一体的実施施設開設に向け、市側の期待に応えるはずみになったと思料しています。

また、顧客満足度の向上の視点から求職者・求人者の満足度は大切であり、特に県下の幅広い地域からの利用者が多く見込まれる三宮職業紹介分室においては、「わかものハローワーク」、「新卒応援ハローワーク」、「プラザ三宮」、「マザーズハローワーク」等特化した支援を行っています。新卒応援ハローワーク等においては、新卒者等若年者が多く、支援にあたるジョブサポーター等が経験豊富なことから、上から目線等の態度がでないよう、「ハローワークサービス点検表」を基に「三宮新卒応援ハローワークサービス自己点検表」を作成し、職員等が毎月自己点検を実施する等継続性のある工夫をしてきました。また、わかものハローワークにおいては面接対策セミナーに活用するため、平成27年2月に作成した「三宮わかハロオリジナルビデオ面接NG編・OK編」を活用したわかりやすいセミナーの実施等を行ってきました。マザーズハローワークにおける担当者制の対象者の就職率は目標達成率が103%と成果をあげました。

正規職員による事業所訪問も全員が1回以上実施という目標は達成できたものの、さらに職員の事業所に対する理解を促進する必要があることから職業相談窓口に関わるナビゲーター等非常勤職員等にもこれを拡充、スキルアップを図っていくこととしています。

以上、平成27年度の成果を踏まえ、今後とも積極的かつ先進的な支援を目指します。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

マザーズハローワークにおいては、子供の同伴を希望する方を対象に、雇用保険説明会を実施しました。また、セミナーにおいてもベビーカーで子供を見守りながら受講のできる「ベビーカーDE セミナー」等を実施したところであり、平成28年度においては同セミナーについて月4回を目途に実施する予定です。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

求人者に対する担当者制について「待たせずに処理することが一番のサービス」等の声が多く、平成 27 年度は実施できませんでしたが、平成 28 年度は、求人者支援員を中心に担当者制を導入します。また、正社員求人について、本所では周知の掲示コーナーを設けていますが、三宮分室においても効果的な周知方法を考えていきます。新規求職者が減少傾向にある中で、就職件数や充足件数等の向上を図るために現在の利用者、雇用保険受給者を最大限に支援することとし、担当者制の強化・拡充、雇用保険の初回認定日における全員相談等の充実を図ります。

サービス改善については、前述の三宮の新卒応援ハローワークでのサービス自己点検の取組を本所、三宮分室全体に広げるとともに、全スタッフに広げ、個人情報漏えい防止の意識向上も併せた「ハローワーク灘等サービス等自己点検表」を作成し、毎月全スタッフに報告を求める等の継続性のある取組みを実施していきます。

## (4) その他業務運営についての分析等

Ж

当所管内においては、鉄鋼業の存在が大きく、コスト縮減や中国の景気後退、円高等の不安定要素等もあり、以前から事業の集約化の話も聞いています。これらの雇用変動につながる情報収集は重要となっています。また、平成28年度は、平成27年度に引き続き新規求人の増加が見込まれ、求人の充足に係る取組みが喫緊の課題となっていることから、三宮職業紹介分室も含めた求人・求職マッチング推進会議の実施により、情報提供の拡大を図り充足件数の向上に取組みます。さらに、マッチング機能向上のため、システムを活用した事業所情報の収集と共有方法の工夫に取り組むこととしています。併せて、立地上、利便性が高くオープンな三宮職業紹介分室について、潜在的な利用者の取り込み策等を検討していくこととしています。

# 2 総合評価(※)

## 標準的な成果

業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

	就職件数	充足件数(受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度(求職者)	紹介成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正社 員就職件数	ハローワーク の職業紹介に より、正規雇 用に結びつい たフリーター	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	正社員求人件数	正社員就職件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	6, 208	6, 013	1, 498	99. 1%	94. 6%	11. 6%	364	1, 633	1, 708	89. 8%	13, 281	3, 048	727
目標	7, 410	6, 630	1, 477	90. 0%	90. 0%	11. 0%	300	1, 499	2, 059	87. 3%	13, 640	3, 418	950
目標達成率	84%	91%	101%			105%	121%	109%	83%	103%	97%	89%	77%
(参考)過去3年度平均	7, 806	7, 138	1, 503										

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク尼崎 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

## (1) 特に重点的に取り組んだ事項

尼崎所における、平成26年度の「雇用保険受給者の早期再就職率」は28.8%であり、局内14所のうち7位でしたが、兵庫 労働局平均を0.1P下回っていたこと及び前年度の当所の就職件数に対して100件程度減少していたことから、主要指標のうち「雇 用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、年間を通じて下記のとおり業務改善に取 組みました。

- ① 雇用保険の初回認定日までに求人票を提供し、それに基づき初回認定日における相談を実施しました。
- ②労働局作成の「早期再就職意欲促進リーフレット」の配布時期を初回説明会(失業給付受給手続きから概ね2週間後で設定)から受給手続時に変更し、より早期に活動開始を喚起することとしました。
- ③初回認定日の職業相談の方法について、従来は、職業相談部門の職員が給付課窓口に移動して職業相談を行っていましたが、給付課窓口では「紹介システム」が活用できないことからこれを改め、給付課での手続き終了後に番号札を手交した上で、受給者が職業相談窓口で相談を行うよう改善しました。このことにより、受給者の希望条件に見合った求人票の提供、即時紹介が可能となり求職者のニーズに見合った相談が行えるようになりました。
- ④早期再就職支援プログラム実施施設「サテライト阪神」の見学会を設定し、「毎週木曜日16時」の開催を初回講習会で周知、給付課 待合にポスターを掲示するなど、同プログラムの活用を広く周知するようにしました。
- ⑤初回講習会の拡充
  - ア、初回講習用リーフレットを作成し全受給者に配布することとしました。これにより、「聞く」だけでなくハローワークの利用案内、早期就職活動開始、早期再就職のメリットなど「視覚」にも訴えるように改善しました。
  - イ、平成28年2月から、従来は15分間程度であった初回講習会を25分程度に拡充し、「求人票の見かた」、「早期活動開始のメリット」等の内容を充実するようにしました。
- ⑥就職が決まった方からの失業給付受給中の方にあてたメッセージを「生の声」として毎月発行し、全受給者に配布しています。 これらの結果、平成27年度の就職件数目標である1,900件には達しなかったものの年間累計実績は1,815件となり、資格 決定件数が対前年度比 480件(480件(480) となりました。

窓口で雇用受給者と対応する職員によると、特に取組③、取組⑤が雇用保険受給者の早期再就職に効果的であったと認識しています。 (\*⑤イ、初回説明会と初回講習会の分離を検討しましたが、当所の説明会は概ね1週間から10日後に開催していること及び、当所 会議室は手狭であることに加え、室内を分割する間仕切りが無いため、所内各課・部門で会議室利用ニーズが高く、場所の 確保と日程調整が困難であることから、説明会と同日開催とし時間を拡張することとしました。)

#### (2) サービス改善・業務改善を図った事項

上記(1)以外に、平成27年度における新たな取組を開始したもの及び、既存の取組を改善したものは以下のとおりです。

#### ①【就職促進・若者支援】

- ア、厚生労働省制作の就職支援用DVDを活用したセミナー時に、管内事業所の事業主又は採用担当者を招へいし、「企業が求める人材」、「面接での自己アピール」などをテーマとした職業講話を実施しました。(毎月1回)
- イ、尼崎市との共催による就職支援セミナーを毎月1回定期開催し、潜在求職者の掘り起しとハローワークへの誘導強化を図りました。 なお、同セミナーにはハローワークの就職支援ナビゲーターを講師として派遣しています。
- ウ、大阪労働局と共催による庁舎移転オープニング・イベントの開催。
  - ・オープニング・セミナー ・・・DVDセミナー、管内事業所社長(建設業)による職業講話(求職者31人参加)
  - ・オープニング・ミニ面接会・・・ハローワーク大阪西、ハローワークプラザ難波、大阪マザーズハローワーク、ハローワーク西宮、 ハローワーク尼崎との初の合同開催。(参加事業所7社、参加者24人、採用4件)

## ②【窓口への誘導強化】

- ア、求人検索機の起動時の画面に「窓口誘導案内画面」を挿入し、窓口相談への誘導を図っています。
- イ、求人検索機に「リフレッシュ求人」ボタンを追加し、条件が改善された求人を目立つように変更しました。(局内複数所の好事例を参考)

## ③【生活保護受給者の就職促進関係】

- ア、尼崎市の生活困窮窓口就労支援員等に対し「ハローワーク見学ツアー」を年間3回実施しました。
- イ、当所の生活保護受給者担当ナビゲーターを講師として、尼崎市福祉事務所ケースワーカー、就労支援員に対する研修を実施しました。

### ④【福祉分野就職促進】

ア、ハローワーク伊丹、西宮、池田と連携して介護等福祉分野事業所の見学ツアーを毎月1回開催しました。(伊丹所好事例を参考)

## ⑤【新卒者支援】

関西国際大学3年生のハローワーク見学ツアーを実施(8名参加)。見学後は職業講話の実施、求人検索機を体験しました。

## ⑥【マザーズ】

毎週土日祝日休みであり、就業時間が9時~15時、9時~17時である求人をピックアップし、「子育てしながら働きやすい求人一覧表」という判り易い標題にし、毎月3回旬刊で求人一覧表を発行しています。(10日、20日、30日) リーフレットスタンドに配架するほか、窓口で対象の方にお配りしています。

## ⑦【個人情報保護・漏えい防止】

平成27年9月に個人情報漏えいが発生しました。発生直後に、再発防止に向けて全職員・相談員にアンケートを実施し効果があると判断したものを実施しました。

ア、相談時に使用するクリアファイルに、「注意喚起メッセージ」を貼付することとしました。(学卒部門)

イ、応募連絡時のチェックリストを作成。応募連絡を行う度にチェックリストに基づき確認することとしました。(職業相談部門)

## ⑧サービス向上・職場環境改善の取組

庁舎移転直後に、全職員・相談員を対象にアンケートを実施。「直ちに改善する事項」、「検討すべき事項」、「労働局に要求する事項」 等に区分し、直ちに取組むべき事項から適宜改善を行いました。

#### (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

平成27年度は、常用就職件数の目標達成率▲16.3%、フリーター就職件数▲23.8%、正社員就職▲26.7%であり、いわゆる「正社員就職」が低調でした。

平成28年度からは、職業相談部門が求職者ニーズの高い求人に対し参加を呼びかける「能動的なミニ面接会」の回数を増加し、求人充足サービスの向上、正社員採用の増加を図る予定です。

また、近隣のハローワークと共催している上記(2)の④「福祉関連事業所見学ツアー」については、事業所担当者からは「その後の応募に結びついた。」参加者からは「介護施設の状況や施設長の方針がよく理解できた。」と、毎回好評を得ており今年度も継続して取り組む予定です。

その他、当所が独自で開催している就職支援セミナーについては、「系統立てた参加」、「セミナーから相談へ」「相談から応募へ」の強化を図るため、就活応援カード「そうだ、ハローワークへ行こう!」を作成しました。求職者に広く交付し、ハローワーク窓口への

誘導、正社員就職へ結びつけるよう取組を開始しています。

## (4) その他業務運営についての分析等

平成27年度は、全国的にも若年求職者が減少傾向にあり、当所においても「わかものコーナー」の新規登録者数が平成26年度802件から、平成27年度は459件となり▲42.8%と大きく減少しています。若年者の窓口への誘導強化するために、上記(3)の就活応援カードの取組を行います。

2 総合評価(※)

## 標準的な成果

業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

# 3 特記事項

平成26年11月に尼崎市との一体的事業として、尼崎市役所内に「ワーク・サポートあまがさき」を開設し、生活保護受給者等の就職支援を行ってきました。

支援対象目標数220人に対し実績は453人(達成率205.9%)、就職目標121人に対し実績は202件(達成率166.9%) と順調に推移しています。

要因としては、上記(2)の③で記載したとおり、平成26年度は尼崎市福祉事務所のケースワーカー、就労支援員に、平成27年度は 尼崎市生活困窮窓口「しごと・くらしサポートセンター」の職員、就労支援員に対し、ハローワーク見学ツアーを行いました。 尼崎市の 担当者からは「求人の検索方法、求人票見かた、尼崎市内の求人の状況等が良く理解できた。」と好評を得ており、これらを通じて尼崎市 とハローワーク相互の連携効果が表れていると思われます。

	就職件数	充足件数(受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度(求職者)	紹介 成功率	生保受給者等就職件数	障害者障害 就職件数	学卒ジョブ就 職件数	訓練修了者就職件数	マザーズ就職率	介護看護保育就職件数	早期再就職 支援プログラム就職件 数
実績	4, 699	5, 060	1, 815	90%	90%	16. 7%	517	296	310	196	89. 1%	632	503
目標	5, 613	6, 096	1, 900	95. 8%	93. 1%	15. 2%	350	281	360	169	87. 3%	750	462
目標達成率	83. 7%	83. 0%	95. 5%			1. 2P	147. 7%	105. 3%	86. 1%	116. 0%	1. 8P	84. 3%	121. 9%
(参考)過去3年度平均	5, 869	6, 277	1, 868										

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク西宮 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

## (1) 特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「就職件数」及び「雇用保険受給者の早期再就職」の目標達成を最重要と考え、雇用保険説明会の前に初回講習会を実施することで早期の再就職意欲の喚起を図りました。また、所重点項目においては「他所と連携し円滑な広域労働移動の実現に多大な貢献」の取組として他所との連携、宝塚市、西宮市との連携による就職面接会の取組を行いましたが、就職件数の目標には及びませんでした。一方で、雇用保険の早期再就職件数は達成することができました。

なお、就職面接会を共催した宝塚市、西宮市からは、事業の継続・拡充を要望されており、平成 28 年度においても開催することとしています。また、平成 28 年度から福祉人材コーナーを新たに設置し、福祉分野の人材不足の解消に取組を開始しました。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

利用者から求人検索機と相談窓口が近すぎると苦情が寄せられたことから、求人検索機の配列を見直すことにより、相談窓口との間隔を広く取りプライバシーの確保などの改善を行いました。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足である福祉分野の面接会は、伊丹及び大阪北部のハローワークとともに開催してきましたが、管内南部の事業所にも対象を広げ尼崎所との連携により定期的に就職面接会を開催していくこととします。福祉分野に特定しない面接会には、他のハローワークの取組なども参考に、多くの求職者の皆様に参加していただけるよう改善を図ることとします。

## (4) その他業務運営についての分析等

正社員求人の確保について、正社員対象の就職面接会の実施を契機とした求人開拓や所長による事業主団体等への働きかけ等の取組を行いましたが、求人数は微増に留まっています。今後は求職者型である西宮所では如何に求職者にとって魅力ある、わかりやすい求人にするかを重点におき、求人の確保、できるだけ多くの正社員求人を受理できるようにいたします。

2 総合評価(※)

# 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

	就職件数	充足件数(受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	(求職者)	紹介成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	ハローワー クの職業 A 介により、正 規雇用に結 びついたフリ ーター等の 件数	マロ事るに支た対職でのお者就受支の就会をあるの。	正社員求人 数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	5, 292	4, 799	2, 606	95. 1%	99. 1%	14. 5%	165	349	593	1, 529	96. 6%	13, 800	734
目標	6, 448	5, 471	2, 575	90. 0%	90. 0%	13. 2%	154	347	459	1, 845	87. 3%	14, 111	950
目標達成率	82%	89%	101%			110%	107%	101%	129%	83%	111%	98%	77%
(参考)過去3年度平均	6, 143	5, 434	2, 684										

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク姫路 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

- (1) 特に重点的に取り組んだ事項
- 当所における最重点課題は、雇用保険受給者の早期再就職であると考え、以下の取組を実施しました。
- ①雇用保険説明会では、早期再就職支援を強調した「再就職シミュレーション」の説明を充実させ、早期再就職の勧奨を強化。
- ②雇用保険の認定日では、初回の全員相談及び2回目以降は45歳未満の全員相談を実施(45歳以上は必要に応じて実施。)。
- ③雇用保険受給者の就職に対する緊要度及び就職ニーズを確実に把握するため、受給資格決定時での把握に加え、初回認定時に再度確認し、再就職支援に活用。
- ④給付制限中の受給者に対しては、「就職応援セミナー」を開催し、受講修了者を担当者制による早期再就職支援への誘導 (「就職応援セミナー」は、7月から毎月2回、計18回開催し、参加人数は178人、うち29人が担当者制を利用)
- ⑤雇用保険給付課にモニターを新設し、支援メニュー等について視覚的な情報を提供し、早期再就職への意識啓発を実施。
- (2) サービス改善・業務改善を図った事項

職員等からサービス改善・業務改善に係る意見の聴取では、庁舎案内の改善意見が多かったため、プロジェクトを立ち上げ検討を行いました。当所では、天井から吊り下げた案内表示、壁や表示板を使った様々な案内文の掲示など、来所者への情報提供を目的として様々な案内表示がありましたが、情報が多すぎて来所者にうまく伝わっていないと考え、案内表示をシンプルに整理する方向で改善を行いました。

案内等の情報を整理し、掲示板も統一性を持った掲示としたため、来所者が戸惑うシーンも少なくなり、サービスの向上が図られました。 また、正社員就職への取組では、ハローワークが選定した正社員求人やマッチングが困難な業種・職種に特化した能動的なミニ面接会を計 23 回開催し、45 名の就職につながりました。

なお、求人者・求職者がお互いに求めている条件、情報等をアンケートにより収集し、求人者がどのようなところを見ているのかなどを取りまとめた求職者向けリーフレット「APPROACH」を、求職者が求人票を見て気になるところなどを取りまとめた事業所向けリーフレット「私たち、求人票のこんなところが気になります」、「INFORMATION」を作成し、適格なマッチングが進むよう求人者・求職者の双方に情報提供を行っています。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険受給者の早期再就職では、上記の②雇用保険の認定日における全員相談、⑤雇用保険給付課でのモニターによる情報提供の実施時期

が年度の終わりとなったため、年度当初からこれらの取組を強化していきます。また、「就職応援セミナー」は平成27年度を通じた平均利用者は9.9人でしたが、年度後半からは常に二桁台で推移し、利用者からは高い評価をいただきました。今後も、早期再就職のメリットをしっかり伝えるなど、セミナーの周知及び受講修了者の担当者制への誘導を強化し、早期再就職につなげていきます。

庁舎の案内表示については、不要な表示がないか、必要な表示に漏れがないかを今後も検証し、来所者サービスの向上を図っていきます。 正社員就職への取組では、正社員に特化した能動的なミニ面接会を充実させ、より多くの求職者の方が就職に結び付くよう取り組んでいきます。

## (4) その他業務運営についての分析等

平成 27 年度の新規求職者数 (常用) は 23,909 人 (対前年比 4.3%減) となっており、年齢別にみると、44 歳以下が 14,723 人 (対前年比 7.0%減)、45 歳以上 54 歳未満が 4,074 人 (対前年比 1.6%減)、55 歳以上が 5,112 人 (対前年比 1.6%増) と年齢が低い方が減少し、高齢者が増加しています。就職件数は、平成 26 年度と比較し、10.9%減と新規求職者数の減少幅以上に減少しています。

主な要因は、有効求人倍率が 1.22 倍と前年から 0.15 ポイント上昇したものの、職業別でみると事務 0.40 倍、運輸・清掃 0.73 倍、生産工程 1.10 倍と、希望する求職者の人数が多い職種で全体より低い求人倍率になっていることから職種のミスマッチが影響していると思われます。 具体的な対応方針として、事業所情報の収集、求人内容の把握、求人開拓及び求職者の動向等を事業所に説明するなど、求職者ニーズに合った求人開拓、求人票の的確な表示により、求人者と求職者のマッチングを進めていきます。

また、高年齢者が増加しているところから、高年齢者の採用や面接に至った実績のある求人を取りまとめた「高齢者求人一覧表」を希望者への配布すること等により、高年齢者の就職支援を強化していきます。

2 総合評価(※)

良好な成果

業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

- 3 特記事項
- 「業務改善、取組向上等プロジェクト」による取組

×

職員(非常勤職員を含む。)から「パワーアッププロジェクト」と銘打った業務改善等の意見を収集し、「業務改善、取組向上等プロジェクト会議」を立ち上げました。当会議では、提案された様々な意見の集約と各課、部門の中堅職員から改善に向けての意見を検討のうえ、「雇用保険受給者早期再就職分科会」「庁舎案内の改善分科会」「正社員就職促進分科会」「ハローワーク業務改善分科会」を立ち上げ、所内における各

種改善を図ってきました。「雇用保険受給者早期再就職分科会」では、給付制限期間中の受給者に対する就職応援セミナーの開催や給付課にモニターを導入し、就職への意欲勧奨を図る取り組みなどを実施しました。「庁舎案内の改善分科会」では、所内の案内表示を見直し、スムーズな窓口誘導が可能となるようレイアウトの改善を図りました。「正社員就職促進分科会」では、能動的なミニ面接会を開催し、正社員への就職へつなげました。ハローワーク業務改善コンクールへの提案を目的とした「ハローワーク業務改善分科会」では、各課・部門から様々なコンクール案が提出され、その中で、当所において増加している高年齢求職者へのタイムリーかつ就職につながる効果があった取組として、「高齢者求人一覧表の作成」をコンクールへ提案しました。

#### ○ 雇用変動への素早い対応

平成27年10月28日に東芝関連企業が事業の構造改革を発表し、その改革に伴い従業員の再配置や早期退職が実施される情報を得ました。 各種手続きに関する支援、早期退職制度を利用する従業員への再就職支援を目的として、当所を中心として関係自治体を含めた「雇用対策本部会議」を10月30日に立ち上げ、アシストハローワークや雇用保険の集合受付等の対応など、関係機関と協議し事前準備を整えたことにより、大きな混乱もなく対応ができました。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度(求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	公的職業訓練の 終了3か月後の 就職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員求人数	介護・看護・保 育分野の就職件
実績	8,101	9,328	2,165	94.0%	97.2%	20.4%	534	445	681	160	87.8%	20,276	938
目標	8,752	10,188	2,140	90.0%	90.0%	20.2%	350	445	494	155	87.3%	19,441	1,180
目標達成率	92.6%	91.6%	101.2%			101.0%	152.6%	100%	137.9%	103.2%	100.6%	104.3%	79.5%
(参考)過去3年度平均	9,748	11,125	2,212										

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク加古川 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

## (1) 特に重点的に取り組んだ事項

当所では、雇用保険受給者の早期再就職の促進を最重要と考え、雇用保険初回説明会、窓口及び給付課待合のモニター画面を利用したスライドショーの放映によって早期再就職のメリットを説明し、就職意欲の喚起に努めました。さらに来所された雇用保険受給者の方を積極的に職業相談窓口にご案内した結果、早期再就職件数は目標を達成することができました。

また、生活保護受給者等に対する就職支援を重点的に取り組み、特に加古川市、高砂市と連携し、就職意欲がみられる生活保護受給者については福祉事務所から積極的にハローワークに誘導していただくとともに、ハローワークからも福祉事務所への巡回相談を実施しました。これらの取組による求職者については担当者制による丁寧な個別支援を行い、その結果、72人を就職に結びつけることができました。

- (2) サービス改善・業務改善を図った事項
  - 利用者アンケートでは、求職者・求人者ともに掲示物や陳列物が分かりにくいという声が多かったため、「訓練」、「求人情報」、「各種パンフレット・リーフレット」、「イベント情報」等同じ内容ごとに集約をして見やすくしました。
- (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足の分野である介護・看護・保育等の面接会は、平成27年度は26回開催しました。平成28年度においては福祉人材コーナーを開設することとしているので、面接会を24回開催することに加え、事業所見学会を実施することによって、求職者に現場を知っていただき応募等の機会を増やしていくこととします。

(4) その他業務運営についての分析等

正社員求人の減少が続いているため、管内の商工会議所等と連携し、会員企業に対して会報を送る際に、正社員求人提出についてのハローワークからの依頼文を同封していただきました。平成28年度以降も正社員求人が少ない状況が続くと思われるため、商工会議所等との連携や事業所訪問、ハローワーク窓口で正社員求人の提出依頼を行っていくこととします。

# 2 総合評価(※)

# 良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

# 3 特記事項

学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職については、ハローワークでの相談が途切れている求職者に対して電話等による来所勧奨だけでなく、他所で開催された面接会へも当所管内出身者に利用の呼びかけを行いました。また、面接がうまくいかなかった人に対して、模擬面接を行うことで自信をつけてもらうことができました。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度(求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点対象 者の就職率	正社員求人 数
実績	5, 251	4, 229	1, 511	94. 9%	98. 0%	18. 6%	72	232	289	90. 8%	8, 517
目標	5, 840	4, 719	1, 476	90. 0%	90. 0%	20. 0%	39	231	239	87. 3%	10, 219
目標達成率	90%	90%	102%			93%	185%	100%	121%	104%	83%
(参考)過去3年度平均	6,390.7	4,956.7	1,397.3								

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク伊丹 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

#### (1)特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点項目においては「雇用保険受給者の早期再就職促進」の取組の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、受給資格決定時や初回説明会において再就職手当について周知し、その活用を促すとともに、初回講習では早期再就職のメリットについて説明し、目標である1,335件を上回る1,836件の早期再就職件数を達成しました。

特に初回講習については、兵庫県下で初めての試みとして雇用保険初回説明会から切り離し、平成27年12月から「早期再就職支援応援セミナー」という名称に変えて、毎週水曜日の午前中(50分間)に実施しています。平成27年度は4か月間で709人が参加しており、今後も継続するとともに運営方法の見直しを検討します。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査サービス点検項目において、「求人窓口サービス全般」の項目が35.5%と局平均数値を下回ったことを受け、職員の意識向上及び接遇面で利用者サービスの向上を図ることを目的として、平成27年7月1日と7月2日に全職員を対象としてDVDを活用した求職者、求人者別の接遇研修を行いました。

また、平成27年度において、「ご意見箱」に9件の苦情や意見が寄せられ、中でも待ち時間の解消に係る問題が特に多かったことを受けて、各課・部門において検討を行い、相談時間を短縮すると反対に求職者サービスを低下させてしまう恐れもあると思われるため、上記で述べた接遇研修を行うことにより接遇面でのサービス強化を図ることとしました。

#### (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

管内の人手不足の分野である介護職や看護職について、ホットジョブミーティング(所内でのミニ求人説明会及びミニ相談会)や面接会、事業所見学会を開催してきたところですが、より一層、就職に結びつくよう職業理解を促し、マッチングに取り組むとともに、今後は待機児童解消のため保育士のマッチングについても注力し、求人充足サービスを向上させることとします。

平成 27 年度において、ホットジョブミーティングは、計11回開催し、参加者は計174人でした。参加事業所及び参加求職者の感想は好評で、事業所や求人内容の周知や、求職者の理解を促す意味で非常に効果的であると思われることから、より多くの求職者の皆様に参加していただけるよう改善を図ることとします。

また、職場見学会を実施するなどの取組についても積極的に行うことを検討します。

#### (4) その他業務運営についての分析等

常用の求人充足件数について、目標件数3,000件に対して、実績が2,800件にとどまったことから、求人条件緩和指導や求人票の内容の充実など求職者が応募しやすい求人票作りを引き続き心がけて取り組んでいくこととします。また、事業所訪問を積極的に行い、情報収集に努め求職者への情報提供を充実させることとします。

正社員求人数については、目標件数 5,962件に対して、実績が 5,980件で、目標達成率は 100% なりました。しかしながら、正社員就職件数は、目標件数 2,275件に対して、実績が 1,961件と目標達成率が 86.2% にとどまる結果となりました。

今後は、正社員を希望する求職者に対する求人情報提供や的確紹介に努めるとともに、非正規を希望する求職者に対する正社員求人への応募 勧奨などの取組みを強化するようにいたします。

2 総合評価(※)

## 良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度(求職者)	紹介成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	公的職業訓練の終了後 3か月後の 就職件数	正社員 求人数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	3, 949	2, 800	1, 836	93. 4%	100. 0%	18. 8%	177	190	122	5, 980	604
目標	4, 330	3, 000	1, 335	90. 0%	90. 0%	16. 2%	116	181	87	5, 962	690
目標達成率	91%	93%	138%			116%	153%	105%	140%	100%	88%
(参考)過去3年度平均	4, 426	3, 178	1, 361								

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク明石 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

## (1)特に重点的に取り組んだ事項

全所必須指標〈主要3指標:就職件数(常用)、充足件数(常用)、雇用保険受給者の早期再就職件数〉及び所重点指標〈所選定指標5項目:下記3の①、②、③、④、⑤〉について、求職型安定所として求職者に係る指標に対して重点的に取組を行いました。特に、全所必須指標の雇用保険受給者の早期再就職件数については、全受給者への再就職シミュレーションを使用した再就職促進を図り目標を達成しました。本指標については引き続き重点的に取り組むべきと考え、本年度からは雇用保険受給者に対する就職支援講習会を実施し、早期再就職支援の充実を図っています。

また、所重点指標〈所選定5項目〉については「④正規雇用に結びついたフリーター等の件数」を除いた4項目において目標を達成しました。特に、「①生活保護受給者等の就職件数」については、管内地方自治体(福祉事務所)と緊密に連携し、支援対象者との職業相談は就労支援員・ケースワーカー同行のもとに行い、福祉事務所における出張相談では個別相談に加え支援の進捗状況について情報共有するなど、福祉事務所と「顔の見える関係」づくりに努め支援対象者の状況に応じたきめ細やかな取組を行ったことにより、目標を大きく達成しました。本年度においても引き続き求職者の就職促進に取り組みます。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

平成27年10月に実施した「ハローワーク利用者アンケート」に係る求人者(満足度)が目標数値を下回ったことを受け、全職員が「求職者」・「求人者」それぞれのアンケートにおいて指摘された内容について自己点検しました。さらに全職員に対する所長ヒアリングを通じて利用者目線の基本的業務の推進と適切な接遇について徹底するよう再度指示を行いました。平成28年度においても利用者満足度の向上に向けた基本業務を推進してまいります。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

平成 27 年度は求人数の増加、求職者数の減少により有効求人倍率が 0.73 倍となりましたが、平成 26 年度と比べ就職件数で 6.1%、充足数で 8.5%とそれぞれ減少したことから、平成 28 年度においては正社員就職に係る取組(未充足正社員求人の所全体でのフォローアップ等)を強化し正社員就職件数の増加及び正社員求人の充足を図ることにより、求人事業所の利用者満足度の向上を目指した取り組みを

図ることとしています。

## (4) その他業務運営についての分析等

管内事業所数は約9,500件で卸・小売業が全体の約25%(求人数13%)、医療福祉関係が10%(求人数34%)、製造業7%(求人数11%)となっており、求人数の多い医療・福祉関係のミニ面接会の実施を引き続き行い充足の促進を図ることとしております。

# 2 総合評価 (※)

## 良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度(求人者)	満足度(求職者)	紹介成功率	① 生活保 護受給者等 の就職件数	② 障害者 の就職件数	③ 学卒 JS の 支援による正 社員就職件数	<ul><li>④ WHの職業 紹介により正 規雇用に結び ついたフリータ 一等の件数</li></ul>	⑤ 公的職 業訓練の終 了3ヶ月後 の就職件数
実績	4, 848	3, 581	1, 632	89. 7%	96. 0%	15. 9%	215	236	395	1, 484	113
目標	5, 065	3, 794	1, 512	90. 0%	90. 0%	13. 9%	154	233	383	1, 720	103
目標達成率	95. 7%	94. 4%	107. 9%			114. 4%	139. 6%	101. 3%	103. 1%	86. 3%	112. 6%
(参考)過去3年度平均	5, 432	4, 216	1, 547								

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク豊岡 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

#### (1) 特に重点的に取り組んだ事項

当所では、地域共通の課題となっています「若年労働者の流出」に対応するため、県民局、豊岡市を始めとする各市・町等自治体との連携を図らせていただき、例年、新規大学卒業予定者を対象とした就職面接会を開催しています。平成27年度開催の面接会につきましては、就職活動時期の後ろ倒し等の影響により、参加学生等が前年度比▲55.7%と減少しましたが、過去最高の47社のご出席を得、採用内定者14名(前年度比▲30%)を確保することができ、一定の成果を得ることができました。また、学卒ジョブサポーターの担当者制によります正社員就職支援も重点的に実施をさせていただき、目標を大きく上回る達成率(159%)となりました。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

求職者の方のアンケートにより要望が多かった担当者制につきまして、実施要領を策定したうえで、実施管理台帳を作成し、すべての職員が閲覧できる共有ファイルにおいて進捗管理を行いながら、時機に適った求人情報の提供、応募書類の添削、セミナーへの参加勧奨等を実施させていただいたことにより、実績向上に繋げることができました。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

管内の事業所の皆様からの要望として、とにかく若年者か技術を持った人材が欲しいとのお声を、概ねどの事業所様からもお聞かせいただく中で、「求職者担当者制」は効果的なことから、今後はその対象となる方につきまして、早期再就職が自分で可能な方よりも、あと少しの再就職支援により就職が可能となる方への支援を重点的に実施させていただき、地域全体のマッチング業務の更なる実績向上を目指します。

#### (4) その他業務運営についての分析等

人手不足分野となっております建設、介護、看護、保育関係業種につきまして、当所管内においても求人者の皆様の充足相談が多く深刻な状況となっています。その中で、毎月1回当該職種を希望される求職者の方全員に求人情報を提供する取り組みを継続して実施いたします。

# 2 総合評価(※)

#### 良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

地方自治体との連携を進めさせていただき、朝来市とU・I・Jターン希望者への支援について市長と所長で協定を結び、市の住宅支援と国の就職支援を情報共有しながら併せて進めているところです。その他、豊岡市を始め管内のその他市・町とも生活保護受給者等の方への就職支援について連携を密に行い、目標を大きく超える就職件数達成率(196%)となりました。各自治体の皆様方から「ハローワークとの連携は不可欠」とのお声を頂いています。

また、全国、概ねすべてのハローワークが抱える求職者の方の減少という大きな課題があり、とりわけ、当所管内(但馬地域)については若年者の方の地域外流出が顕著なため、仕事を探している若者が気軽にハローワークの求人に触れられるよう、市内のコンビニエンスストア様へご協力を依頼し、毎週作成する「フレッシュ求人情報」をコンビニに配架してもらっており、随時、ご協力店舗の拡大もお願いしているところです。

さらに、豊岡市立図書館にもご協力を依頼し、同様に求人情報を配架させていただき、広く潜在求職者の方のハローワーク利用勧奨に努めている状況です。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度(求職者)	紹介成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	ハローワークの 職業紹介により、 正規雇用に結び ついたフリーター 等の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率
実績	3784	3559	858	96.2%	96.4%	36.9%	151	238	907	87.5%
目標	3783	3610	775	90.0%	90.0%	32.4%	77	150	794	87.3%
目標達成率	100.0%	98.6%	110.7%			113.9%	196.1%	158.7%	114.2%	100.2%
(参考)過去3年度平均	4115.0	3834.3	853.0%							

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク西脇 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

## (1) 特に重点的に取り組んだ事項

- ・事業所からの求人充足の要望が多かったこともあり、ミニ面接会の開催、求人者支援員をはじめとした職員による事業所訪問時の条件緩和 指導、事業所画像情報の収集に重点を置いて、充足件数の増加の取組を行ってきました。
- ・職業相談窓口においては、履歴書等の作成支援を行うなど、きめ細かく、丁寧な相談を行うことにより、早期就職に結びつくよう努力してきました。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

・事業所訪問時、所における求人受理時の条件緩和指導に応じた求人については、リニューアル求人として、条件緩和箇所を明示して所の掲示板に掲示を行うなど求人者サービスの改善を行ってきました。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

- ・特に正社員に特化した、介護・看護・保育等の人手不足職種を中心にミニ面接会を開催する予定です。
- ・新規求職者が減少傾向にあるため、求職者担当制の積極的実施により、きめ細かい相談件数を増加させていきます。
- ・地方自治体の要望を把握し、可能な限り、地方自治体と雇用対策協定を締結することにより、地域の雇用問題解決のための取組を実施する予定です。
- ・雇用保険受給者の早期再就職に向けて、認定日における職業相談窓口での相談を拡充させていきます。

#### (4) その他業務運営についての分析等

- ・特に44歳以下の新規求職者数の減少傾向が著しいため、ハローワークへの若年者の来所勧奨についての取組が必要と考えます。
- ・5 5 歳以上の新規求職者は増加傾向にあるため、ハローワークを頼って来所する高齢者へのサービスの充実を検討していく必要があります。
- ・資格決定件数も減少傾向にあるため、雇用保険受給者の認定時における職業相談窓口での全回全員相談等の方策を検討していきます。

# 2 総合評価(※)

## 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

# 3 特記事項

- ・管轄内の市・町における人口流出が課題となっており、各市・町、商工会議所等との各種会議等を通じて、地域における課題等の情報共有を行ってきました。
- ・新規学卒者の地元企業に対する理解の促進を図るため、企業アンケート「新規学卒者に届ける地元企業の声」を実施し、好評を得たことから、ハローワークの業務改善コンクールに提出しました。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度(求職者)	紹介成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	ハローワークの 職業紹介により、 正規雇用に結び 付いたフリーター 等の件数	正社員求人 数
実績	3047	2886	712	95.6%	99.0%	27.8%	95	149	908	5726
目標	3086	3142	796	90.0%	90.0%	24.0%	77	105	569	5789
目標達成率	99%	92%	89%			116%	123%	142%	160%	99%
(参考)過去3年度平均	3131	3141	818							

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク洲本 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

## (1) 特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点項目においては「正社員求人の確保」の取組目標を達成できるよう、充足会議を強化するなど充足支援に重点的に取り組みました。また、管内に訓練施設が乏しい中、求職者に対して求人者ニーズも踏まえた訓練受講の勧奨を行うとともに、訓練修了者に対しては正社員就職への支援にも積極的に取り組んだ結果、訓練後の雇用保険適用就職において、目標以上の就職数を達成することができました。

# (2) サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、利用者満足度の目標は達成しましたが、高満足度が低く、特に求人者による調査結果では、高満足度が48%と非常に低調であったことから、求人受理時はもとより、求人開拓や適用窓口での応対、助成金相談などにおいても、より懇切・丁寧な対応を心がけるよう改善しました。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

事業所見学ツアー方式の見学・面接会が効果的であるため、より積極的に開催を促進します。また、希望しないながらも非正規社員である者の正社員化を強く押し進め、正社員就職数を増やすため、正社員求人の開拓の際の事業主への説明や窓口相談でのフリーター等の意欲喚起の際に、「非正規雇用の現状と課題」の資料を念頭に置いた説明を行い、求人者においては正社員採用、求職者においては正社員就職につながるよう改善して参ります。

## (4) その他業務運営についての分析等

管内での宿泊業・飲食サービス業の求人数が非常に多く、これら業種のミスマッチ解消が課題です。また、比較的求職者の希望が多い製造業の求人の比率が依然として低いため、管内の自治体や商工会議所等と連携し、引き続き製造業を中心とした求人の開拓に取り組んでいきます。

2 総合評価(※)

# 良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	公的訓練の 修了3か月 後の就職件 数	正社員
実績	1,691	1,625	438	96.0%	94.9%	31.2%	96	69	16	3,756
目標	1,823	1,736	457	90.0%	90.0%	27.7%	77	68	13	3,754
目標達成率	93%	94%	96%			113%	125%	101%	123%	100%
(参考)過去3年度平均	1,984	1,856	425							

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク柏原 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

#### (1) 特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求人情報の提供や所内のミニ面接会などの取組を積極的に行いました。特に求人内容の的確な情報提供に向け、職員、相談員による事業所訪問を行い情報の収集に努めました。またミニ面接会についても年間85回実施し、71件の就職件数となりました。また仕事の内容をまず見ていただき、入社後に思いと相違の無いようにすることが重要と考え、職場見学会を年5回実施しました。この取組については、利用者から「求人票だけでは分からない会社の実態がよく分かった」などの評価をいただいたところです。さらに、より効果的な就職支援を図るため、求職者から顔の見える形で個別支援を実施し、早期再就職に結びつけることを目的に求職者担当者制も平成27年度本年から開始し、取組実施者数57名、66.7%の就職率となりました。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、求人内容と採用後の条件に違いがあるとの意見があったため、採用時に必ず労働条件通知書の交付を事業主に行ってもらうよう、「事業主の皆様へ」のリーフレットを作成し窓口に備え付け、求人申込時に説明とともに手交し周知するようにしました。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークの業務内容についての情報発信とハローワークの利用勧奨を目的として、商業施設へ求人情報誌を設置しハローワークの PR を行っておりますが、今後更に設置場所の増設を考えています。また、より詳細な求人情報の発信として、従業員の声、採用担当者の声をインタビューし、事業所画像情報と共に情報提供をより積極的に行っていきます。

#### (4) その他業務運営についての分析等

当所管内の課題として、若者の管外、他県への流出が進んでいます。そこで、若者の地元定着の促進を図るため、ハローワーク、丹波県民局、篠山市及び丹波市が中心となる「丹波地域人材確保協議会」において、「企業紹介フェア」、「就職フェア」、「高校生対象企業紹介セミナー」、「企業と大学就職担当者との意見交換会」を開催しています。また丹波市との一体的実施施設の「丹(まごころ)ワークサポートたんば」では、新たに、移住定住希望者、U・I・Jターン希望者等を対象として、「仕事」と「住まい」のワンストップ相談窓口体制の構築を図ります。

# 2 総合評価 (※)

## 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

- ・人手不足職種の介護関係において、人材確保対策の一環として、未経験者を対象とする入門的セミナーを丹波市社会福祉協議会と連携し開催 した。平成27年度においては、年3回実施した結果、29名の参加者があり、5名が就職に結びつきました。
- ・新規求職者が減少している中にあっても、仕事と子育ての両立を希望する方の再就職については、厳しい状況がうかがえるところです。このため、求人に係る充足サービスの強化、並びに仕事と子育ての両立を希望する方への支援として「仕事と子育ての両立を希望する方を対象とした就職面接相談会」を開催しました。12社の参加事業所があり、21名の求職者が参加、6名が就職に結びつきました。

	就職件数	充足件数	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度(求人者)	満足度(求職者)	紹介成功率	障害者の 就職件数	公的訓練の 3か月後の 就職件数	正社員求人数
実績	1, 965	1, 890	479	96. 0%	96. 0%	34. 7%	94	15	3, 301
目標	2, 269	2, 062	490	90. 0%	90. 0%	20. 0%	97	19	3, 130
目標達成率	87%	92%	98%			174%	97%	79%	106%
(参考)過去3年度平均	2, 358	2, 135	510						

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク西神 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

### (1) 特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「正社員求人数」の目標達成を最重要と考え、正社員求人の開拓及び非正規求人から正社員求人への転換の働きかけについて重点的に取り組みました。特に、職業相談部門を含め職員による事業所訪問を積極的に取り組み、80社(延べ91名)を訪問し求人開拓や訪問により把握した詳細な情報を求職者へ提供等を行いました。目標に対する達成率は111.5%となりました。

また、求人票記入の参考になるリーフレット「求人コンシェルジュ」を職種(5種類)ごとに作成しました。求人受理時等における事業主への説明に活用することで、求職者が応募したくなる求人票の作成支援にも取り組みました。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

「希望の求人を見つけることが難しい」との声があったことから、雇用保険初回説明会終了後に希望者に対して使用方法をアドバイスする「求人検索システム活用セミナー」を新たに始めました。説明会参加者のうち毎回1割程度の参加があり、セミナー参加中に見つけた求人に応募して採用に至ったケースもありました。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

平成27年度は、9月から1月にかけて正社員限定ミニ面接会を4回開催しました。参加事業所14社、参加求職者60名、就職者10名という結果になりましたが、今年度はより正社員就職者が増えるよう開催回数、時期等の見直しを行うこととしています。

また、雇用保険受給者のうち給付制限中の方に対して、担当者制による個別支援を強化するなど職業相談の充実を図ることにより、早期に再就職されるよう支援を強化していきます。

### (4) その他業務運営についての分析等

平成27年度は、求人の充足件数目標2,506件に対して実績2,280件という結果になりました。求人者に対する助言・提案を増やすとともに、自治体・商工会議所及び近隣ハローワーク等と連携してマッチング機会を増やすことにより充足件数向上に取り組みます。

# 2 総合評価 (※)

# 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

# 3 特記事項

生活保護受給者等の就職支援に積極的に取り組みました。自治体担当者とハローワークの連携を強化するとともに、ハローワークにおいて自治体のケースワーカーを対象にした研修(勉強会)を開催するなど支援体制の構築に努めました。

その結果、就職件数目標39名に対し実績65名となりました。個々の状況に応じたきめ細かい支援に加えて、自治体も含めた支援体制を構築できたことが結果に繋がったと考えています。平成28年度も引き続き、就職支援に取り組むこととしています。

	就職件数	充足件数(受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度(求職者)	紹介 成功率	障害者の就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける就職率	正社員求人 数
実績	3,107	2,280	784	98.6	95.8	17.5	150	286	97.0	4,817
目標	3,163	2,506	734	90.0	90.0	17.4	122	235	87.3	4,319
目標達成率	98%	91%	107%			101%	123%	122%	111%	112%
(参考)過去3年度平均	3,368	2,579	764							

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク龍野 就職支援業務報告(平成27年度)

# 1 所長による分析(業務運営の総括)

## (1) 特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標のうち雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、就職意欲及び就職に対する緊要度の的確かつ早期の把握に努め、窓口相談や求人情報提供を積極的に行うとともに、就職支援プログラム、所独自で実施している就職支援講座への誘導などの取組を行うことが出来たことにより、目標 854 件に対し実績 965 件(目標達成率 113.0%)とすることが出来ました。特に、所独自で実施している就職支援講座については、面接講座・応募書類作成基礎講座・職務経歴書作成講座の 3 講座をそれぞれ月1回定期的に開催し、3 講座合わせて参加者 176 名、うち就職決定者 121 名(就職率 68.8%)となっており、採用となった講座受講者から有意義であった旨のメッセージを多数いただくなど好評を得ています。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、庁舎内の掲示物が見にくいとの意見があったため、テーマ別に集約するなどの環境改善を行いました。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

管内求人の充足が伸び悩んでいるため、できるだけ多くの正社員求人を受理できるように努めるとともに、求人者に対して、求職者の応募に つながるようなわかりやすい求人票記載及び求人条件緩和の提案を積極的に行うこととします。

#### (4) その他業務運営についての分析等

平成27年度の正社員の有効求人倍率は0.55倍で依然として厳しい状態が続いています。新規求職申込件数が前年度に比べ7.4%減少したものの、正社員就職を希望する求職者のなかには失業期間が長期化するケースも見受けられることから、フリーター等から正規雇用を目指す求職者に対し、個別支援や所独自で実施している就職支援講座を活用した就職支援に取組みます。

2 総合評価(※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	ハローワー クの紹介に より正規雇 用に結びつ いたフリータ 一等の件数	公的訓練の 修了後3か 月後の就職 件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	5019	3420	965	97.7%	95.9%	29.7%	101	1050	21	632
目標	4989	3525	854	90.0%	90.0%	26.1%	77	1041	26	590
目標達成率	101%	97%	113%			114%	131%	101%	81%	107%
(参考)過去3年度平均	5215	3543	877							

<sup>※ 「</sup>目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率